

5 かみのやまの食のブランド化プロジェクト

<状況：◎完了、○実施中（継続）、△次年度、×取組なし又は未定>

事業名	事業内容等	平成28年度 実施内容	スケジュール				進捗状況	平成28年度実績		
			28年度	29年度	30年度	31年度以降		事業内容	問題点(未達成)及び次年度以降に向けた課題等	所管課 実施団体
1 上山産農産物の地域ブランド戦略の推進										
(1) 農産物等(サクランボ・ぶどう・西洋なし・紅干し柿・ワイン等)の消費宣伝	大消費地等での上山産特産品のプロモーションの実施	日本橋イベントスペース(東京)や仙台駅かみのやまフェア(仙台)における農産物のプロモーションを実施(観光課との連携)					○	◇東京、仙台、名古屋でのPRを実施 名古屋市場との取引実績…H28年度 取引割合8.0%(H27年度6.3%) ◇和歌山県田辺市と合同で「日本橋イベントスペース物産展」での農産物をはじめとした特産品紹介事業の実施	消費者における上山産農産物の認知度向上	農業夢づくり課 観光課 観光物産協会
	市場向けセールスの実施	関係団体によるセールスの実施(名古屋…ラ・フランス、東京…さくらんぼ)					○	名古屋市内2箇所で開催	仲卸人における上山産農産物の認知度向上	農業夢づくり課 生産団体
	県外のホテル・レストラン等へのPR活動の実施	首都圏大型ホテルにおける上山農産物のプロモーション活動の実施(山形県と連携)					○	首都圏の大型宿泊施設、飲食施設へ営業活動を実施	農家と利用者の商品に対する考えの相違	農業夢づくり課 観光課 生産者
	生産者等の販促活動への支援	◇生産者団体等が実施する販促活動への補助金の交付 ◇共通の販促資材の販売・貸出し					○	◇生産者団体等が実施する販促活動への補助金交付(4件/523千円) ◇共通の販促資材の作製、販売、貸出しを実施	農家の農産物販売までを視野に入れた農業経営	農業夢づくり課
	市内向け消費宣伝の実施	◇ラ・フランスセレクションの開催 ◇市内イベント(ツール・ド・ラ・フランス大会等)でのPRの実施 ◇かみのやま温泉駅前でのプロモーション活動を実施					○	◇ラ・フランスセレクション出品数70件(ツール・ド・ラ・フランス大会と同会場で開催) ◇かみのやま温泉駅・上市市役所等でのPR展示を実施	上山産農産物が高品質であることの認知度向上	農業夢づくり課
	高品質な果物や野菜の生産の推進	◇ハウスや機械等の整備支援、新規作物・新品種の導入支援 ◇伝統野菜等、関係機関と連携した消費拡大事業の展開					○	レストラン等への紹介、販促の実施	◇ハウスや機械等の設備整備、新規作物・新品種の導入 ◇伝統野菜等、関係機関と連携した消費拡大事業の展開	農業夢づくり課 生産者
2 かみのやま食のマルシェの実施										
(1) 定期市、商業祭等での農産物の開催	定期市、商業祭等各種イベントでの農産物の開催	商業祭等での地元農産物の販売					△	カミンでの出店(35回)	定期市会場の再検討、会員の高齢化	農業夢づくり課 商工課 たいらぐら
	(2) 食のまち歩き情報紙づくり	直売所や地産地消の店、特産の農産物を使った商品の紹介	商店街マップを市内各所やイベント等で配布・PRし、市街地への誘導を図り、まち歩きを推進する					○	商店街振興会、麺類食堂組合、菓子組合合同により、個店や逸品等を紹介する商店街マップを作成し、市内各所やイベント等で配布しPR	商店街マップを活用しながらまち歩きを進める。また、今後新たなまち歩きマップを作成し、中心市街地の拠点施設と商店街が連携した活用により、まち歩きを推進
3 旅館での地元産農産物の活用拡大										
(1) 旅館での地産地消の拡大推進	◇旅館への農産物情報の提供 ◇旅館への発注・集荷・配達・精算等のシステムづくり	◇旅館への農産物情報の提供 ◇農家と旅館の意見交換等の場の設定					○	農産物コーディネーターによる上山産農産物の情報提供により、旅館での地産地消農産物の利用拡大が進展	年間を通し安定的な地場産農産物の供給体制の構築	農業夢づくり課 観光課
	地元農産物活用に向けたコーディネート機能	地産地消推進業務の委託					○	地産地消事業をJAへ委託	年間を通し安定的な地場産農産物の供給体制の構築	農業夢づくり課
(2) クアオルト膳の充実	生産者と旅館、飲食店料理人間の交流会開催	取引を前提としたマッチングの機会を創設					○	農産物コーディネーターによる農産物の情報提供の実施	年間を通し安定的な地場産農産物の供給体制の構築	農業夢づくり課 温泉旅館
	各旅館での地元農産物を活用した栄養のバランスに優れた食事メニューの開発・提供	◇意見交換会の開催、ノウハウの共有 ◇宿泊型新保健指導事業の実施による、カロリー・塩分に配慮した食事メニューの提供 ◇料理人による研究会の立ち上げ					○	◇宿泊型新保健指導事業の実施により(4旅館受入)、管理栄養士が監修したカロリー・塩分に配慮した食事メニューを開発・提供 ◇宿泊+膳セット商品の恒常的な販売(2旅館)	◇「健康=低カロリー」という意識の改革、お客様に向けた効果的な情報発信 ◇意見交換会やノウハウ共有の場の設定、対応可能旅館の拡大	クアオルト推進室 農業夢づくり課 観光課 観光物産協会 温泉旅館
(3) ウェルカムフルーツでのおもてなし	◇旅館でのウェルカムフルーツの提供(期間を決め、各旅館で宿泊客に必ずフルーツを出す) ◇新幹線乗降客に対し、期日を決め、さくらんぼ、ラ・フランスジュースで出迎え(やまがた花回廊、山形DC期間中)	ラ・フランスを中心に旅館での使用を促進					○	フルーツにとどまらず、上山産農産物全体の情報提供及び農家と旅館のマッチングを実施	旅館のニーズに対応可能な生産者の確保	農業夢づくり課 観光課 観光物産協会 温泉旅館
4 新商品の開発										
(1) 6次産業化の推進及び商品開発に向けた産学官金の連携構築	◇農産加工等実践者のPR(実践事例調査) ◇異業種交流会(生産農家、食品製造業、学校等)の開催、産学官金意見交換会、関係者間定例ワーキングの開催 ◇成分分析等による魅力の再発見	◇農産加工等の研修会への参加呼びかけ ◇農産物コーディネーターの配置					○	6次産業化に興味のある農家に対し研修参加の呼びかけを行うなど、新たな加工グループの育成に取り組み、新たな加工所が開設	販路拡大、6次産業化への意欲向上	農業夢づくり課 観光課
	(2) 商品の開発促進	◇クアオルト商品の承認基準を定め、地元農産物を活用した商品開発を促進 ◇明新館高校生徒のスイーツメニューアイデア募集	承認基準の設定と周知により、商品の開発促進					×	クアオルト商品の承認基準を検討したものの、クアオルト自体の認知度不足により、それに基づく地元農産物を活用した商品開発は進められなかった	クアオルトの認知度・ブランド力が向上しなければ、商品開発の機運醸成は難しい
(3) 商品発表会の開催	◇各種イベント等での商品発表会 ◇プレスリリースの実施、HPや市報での紹介、パンフレットの作成等 ◇クアオルト認定の新商品を取り扱う小売店や食品製造業者等をPR	PR事業の実施					×	商品開発を進められなかったため、商品発表会やPRを実施できなかった	クアオルトの認知度・ブランド力が向上しなければ、商品開発の機運醸成は難しい	商工課 農業夢づくり課
(4) クアオルト弁当の充実	各種イベント開催時の販売、活用	新規参加事業者の掘り起し					○	◇ウォーキングイベント等における積極活用 ◇宿泊型新保健指導事業の実施による(6ツアー開催)、管理栄養士が監修したカロリー・塩分に配慮した食事メニューを開発・提供 ◇企業・事業所における栄養教室などでの活用	◇定期的な品質管理 ◇新規事業者の掘り起し	クアオルト推進室 農業夢づくり課

5 かみのやまワインの郷プロジェクト										
(1) ワインぶどう生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ◇園地整備・拡大への支援 ◇ワンストップ窓口の設置 ◇産地優位性の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ◇園地整備・拡大のためのオーダーメイド型支援 ◇畑探しのための一括相談窓口（ワンストップ）設置 ◇山形大学と連携した、ぶどう栽培適地としての検証 					○	<ul style="list-style-type: none"> ◇園地整備/10.7ha（うち新規約3.3ha） ◇ワインぶどう栽培面積/44.74ha（H26年度比121.3%） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ぶどう栽培適地の検証の継続 ◇ワンストップ相談案件のきめ細かな対応の継続 	農業夢づくり課
(2) ワイン醸造量の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◇ワイナリー誘致の推進 ◇ワイナリー創設者の掘り起こし ◇ワンストップ窓口の設置 ◇既存ワイナリーの設備整備への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大手ワイナリーへの市内進出誘致 ◇ワイン特区を活用しながら、ワインぶどうセミナー等を実施する中でのワイナリー創設者の掘り起こし ◇既存ワイナリーの設備整備への支援 					○	<ul style="list-style-type: none"> ◇ワンストップ窓口誘導案件（9件） ◇ワインぶどうセミナー開催（4回/194人） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇就農、ワイナリー創業に向けた継続的な支援 ◇新規案件の発掘 	農業夢づくり課
(3) ワイン消費の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◇オリジナルワイン醸造 ◇ワイン講座 ◇各種イベント等でのかみのやまワインのPR ◇PR用ツールの作成 ◇ワインツーリズムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇オリジナルワイン醸造（ぶどう収穫、ワインの名称、デザイン公募） ◇市民や旅館関係者を対象にした、ワイン講座の開催 ◇ワインバル等のイベントで、かみのやまワインのPR ◇プロカメラマンによる、ワイナリー、ぶどう畑、イベント等の写真を撮影し、映像資料を整備 ◇ワインツーリズム実施に向け、担当者を対象にした勉強会の実施 ◇飲食店組合によるBYOの実施 					○	<ul style="list-style-type: none"> ◇市民参加型のオリジナルワイン開発・販売を通じた盛り上がり、ワインバルへの出店醸造本数1,300本（赤400本/白900本） ◇市民向けワイン講座の実施（1回/96人） ◇映像、写真資料等の整備が完了 ◇ワインツーリズムセミナーの開催（1回/32人） ◇飲食店組合によるBYOの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇オリジナルワイン及びプロジェクトに対する市民のさらなる認知度向上 ◇プロモーション素材の利活用と積極的なPR ◇ワインツーリズムの実施 	農業夢づくり課 観光課 商工課